

第79回 三重県陸上競技選手権大会の見どころ

(7/9・10 三重交通Gスポーツの杜 伊勢 補助競技場)

男子

《短距離》

100mは日本選手権8位の九鬼巧(NTN)、東海高校総体優勝の中脇裕也(鈴鹿高専) 200m三重県記録保持者の小林雄一(NTN)、200mで日本選手権4位・日本学生個人選手権優勝の川瀬孝則(日体育大)と豪華な顔ぶれがそろそろ。200mは、川瀬を中心にNTNの松尾慎太郎、小林将一、東魁輝、梨本真輝と力のある選手がそろい21秒を切るレベルの高いレースを見ることができそう。400mでは大学生1年生の直江航平(東海大)と大谷尚文(慶應義塾大)、奥川魁斗(日本体育大)が中心か。

4×100mリレーは力のあるメンバーをそろえたNTNに県記録更新、東海高校総体2位の宇治山田商高には、三重県高校記録更新を期待したい。

4×400mリレーは東海高校総体優勝の宇治山田商高が中心になりそう。

《中・長距離》

800mで日本選手権入賞の田中智則(AGF)に三重県記録更新の期待がかかる。1500mの塩澤稀夕(伊賀白鳳高)と3000mSC東海高校総体優勝の田辺佑典(伊賀白鳳高)は、全国高校総体に向けてのどのような走りをするかが注目される。5000mはNTNの選手を中心にレベルの高いレースになりそう。東海高校総体5000W大会新で3位、三重県高校新記録を更新した坂崎翔(伊賀白鳳高)の競歩にも注目。

《跳躍》

走高跳で日本選手権優勝、リオデジャネイロオリンピック代表の衛藤昂(AGF)には、2m30を超える跳躍を期待したい。2m10以上の記録を持つ加藤健太郎(鈴鹿高専)、日本学生個人選手権8位の衛藤将(皇学館大)も出場し、レベルの高い跳躍を見ることができそう。

走幅跳はアジアジュニア2位、本年度三重県記録を更新した野村智也(東海大)が出場し、8mに迫るビッグジャンプが期待される。日本選手権十種競技3位の清水剛士(NTN)の跳躍も注目される。

《投擲》

砲丸投の村上輝(国士舘大)は日本学生個人選手権優勝、日本選手権8位。三重県記録更新が期待される。

ハンマー投の植松直紀(中京大)は、日本学生個人選手権大会新で優勝、日本選手権2位で69mを超える三重県記録を樹立し、70mスローに期待がかかる。

女子

《短距離》

100mと200mには、100mで日本選手権3位、今年11秒57の三重県記録を更新した世古和(CRANE)が出場する。100mには、名倉千晃(NTN)、柴原有里(四日市商高)、200mには、名倉、大月奈穂子(NTN)、東海高校総体優勝の鈴木塔子(四日市商高)が出場し、両種目とも近年になくレベルの高いレースで好記録が期待できそう。100mHは東海高校総体2位の西堀朱音(松阪商高)に好記録の期待がかかる。

4×100mリレーは、東海高校総体で46秒32の好記録をマークした四日市商高とNTNが注目される。

《中・長距離》

1500mで東海高校総体優勝の加藤綾華(津商高)が出場。全国大会に向けての走りが注目される。

5000mWには、10000mWの三重県記録保持者上野侑香(日本陸送)が出場する。

《跳躍》

走高跳に日本選手権6位入賞の池住瑞紀(愛知教育大)が出場。好記録を期待したい。1年生で全国高校総体出場を決めた豊田舞奈(松阪商高)をはじめ前村絢音(宇治山田商高)、中出里央(鈴鹿高専)ら高校生が挑む。棒高跳は出口瑞歩(宇治山田商高)に三重県記録・三重県高校記録更新が期待される。三重県記録保持者の中林麻奈(日本体育大)も出場。走幅跳では、高校1年生ながら全国高校総体出場を決めた山野綾香(松阪商高)が大学生になった林薫乃(甲南大)に挑む。全国高校総体に向けの跳躍が注目される。

《投擲》

砲丸投は大学生の鳥羽瀬めぐみ(大阪体育大)、高校生の浦田晏那(松阪商高)に中学生の西野優里(玉城中)、床辺彩乃(多気中)が挑戦する。円盤投は40mを超える記録をもつ東海高校総体優勝の藤原千春(松阪商高)、3位の浦田、大学生の中村千咲(鹿屋体育大)とベテランの成瀬美代子(成瀬鍼灸院)が出場する。ハンマー投は、雪岡野絵(九州共立大)、東濤(大阪体育大)、濱田恵里奈(九州共立大)、油谷文月(九州共立大)ら50mを超える記録をもつ大学生の投擲が注目される。やり投には、三重県記録保持者の坂倉杏奈(鹿屋体大)が出場する。